

執筆者一覧

坪井 祐司(つばい ゆうじ)

東洋文庫研究員。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。専門はマレーシア近代史。研究テーマは英領期のマラヤにおけるマレー民族の形成の過程。主な論文は「1930年代初頭の英領マラヤにおけるマレー人性をめぐる論争：ジャウイ新聞『マジユリス』の分析から」(『東南アジア歴史と文化』45、2016年)。

山口 元樹(やまぐち もとき)

日本学術振興会特別研究員(PD)。専門はインドネシア近現代史。研究テーマはオランダ植民地期のインドネシアにおけるイスラーム運動とアラブ地域との関係、特にアラブ系住民の活動。主な論文は「オランダ領東インドにおけるアラブ人協会イルシャードの教育活動：アフマド・スールカティの改革主義思想とその影響」(『東洋学報』、2011年)。

野中 葉(のなか よう)

慶應義塾大学総合政策学部専任講師。専門はインドネシア地域研究。研究テーマは現代インドネシア社会におけるイスラームの受容と広がり。著書に『インドネシアのムスリムファッション——なぜイスラームの女性たちのヴェールはカラフルになったのか』(福村出版、2015年)。主な論文に「イスラーム的価値の大衆化：書籍と映画に見るイスラームの小説の台頭」(倉沢愛子編著『消費するインドネシア』、慶應義塾大学出版会、2013年)など。

篠崎 香織(しのぎ かおり)

北九州市立大学外国語学部准教授。専門はマレーシア地域研究。マラヤ地域(マレーシア半島部+シンガポール)の華人社会を中心に、マレーシア地域の政治・文化・歴史を研究。主な論文に「マレーシア：『民族の政治』に基づく民主主義」(清水一史・田村慶子・横山豪志編著『東南アジア現代政治入門』ミネルヴァ書房、2011年)、「ルック・イースト政策と『民族の政治』：教育機会の分配をめぐる政治」(『マレーシア研究』2、2013年)など。

山本 博之(やまもと ひろゆき)

京都大学東南アジア地域研究研究所准教授。専門はマレーシア地域研究／現代史。研究テーマは、イスラーム教圏東南アジアの民族と政治、アジアの災害対応、地域研究方法論。著書に『脱植民地化とナショナリズム——英領北ボルネオにおける民族形成』(東京大学出版会、2006年)、編著書に *Bangsa and Umma: Development of People-grouping Concepts in Islamized Southeast Asia* (Kyoto University Press, 2011) がある。

CIRAS Discussion Paper No. 68

坪井祐司・山本博之 編著

『カラム』の時代Ⅷ——マレー・ムスリムの越境するネットワーク

発行 2017年3月

発行者 京都大学東南アジア地域研究研究所

京都市左京区吉田下阿達町46 〒606-8501

電話: 075-753-7302 FAX: 075-753-9602